

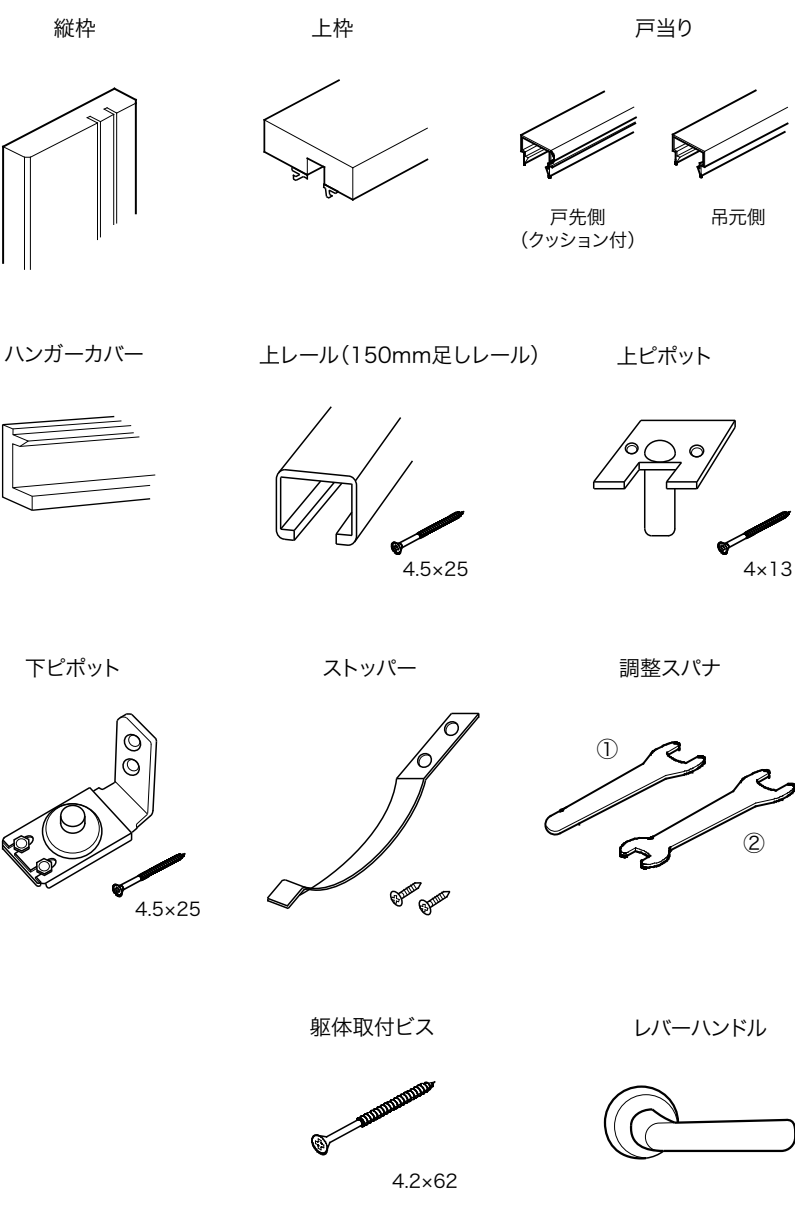
ハートフル
折戸ドア

このたびは、AK製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

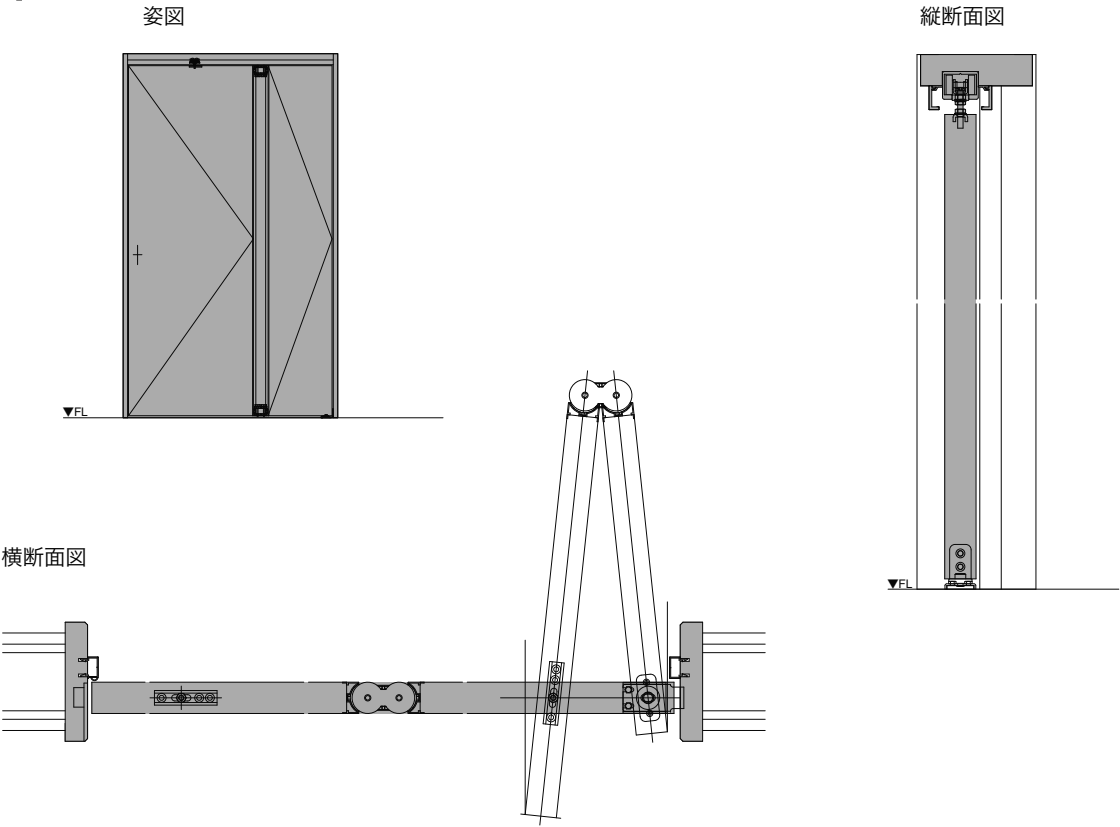
⚠ 施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。

	部品名
枠	縦枠
	上枠
	戸当り 戸先側(クッション付)
	戸当り 吊元側(クッション無)
	ハンガーカバー
	上レール① 150mm足しレール
	上レール②
	上レール取付ビス(皿タッピング 4.5×25)
	上ピボット
	上ピボット取付ビス(皿ドリルビス 4×13)
扉	下ピボット
	下ピボット取付ビス(皿タッピング 4.5×25)
	ストッパー
	調整スパナ① 7番
	調整スパナ② 10番
	躯体取付ビス(皿木 4.2×62)
	折戸
	吊車(取付済)
	レバーハンドル



納まり図

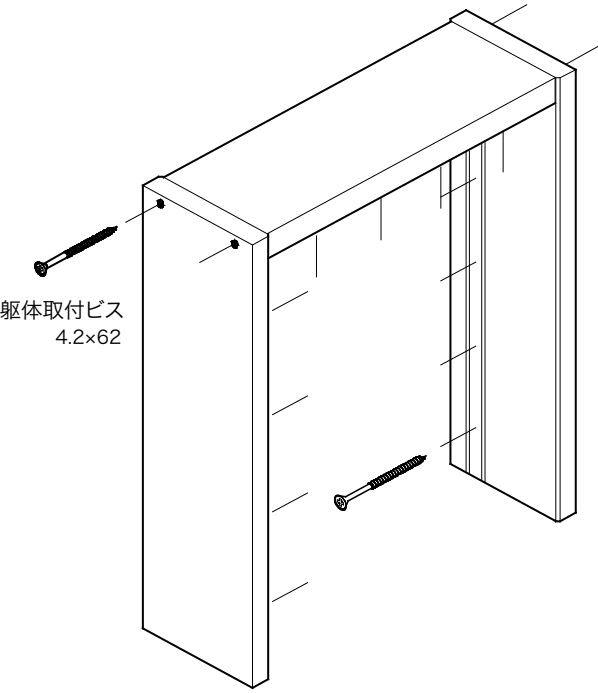


取付け順

1. 枠の組立て・取付け

①付属のビスで枠を組み立ててください。

注意 垂直・水平を必ず確認し、ねじれ・傾き・変形などないように施工してください。



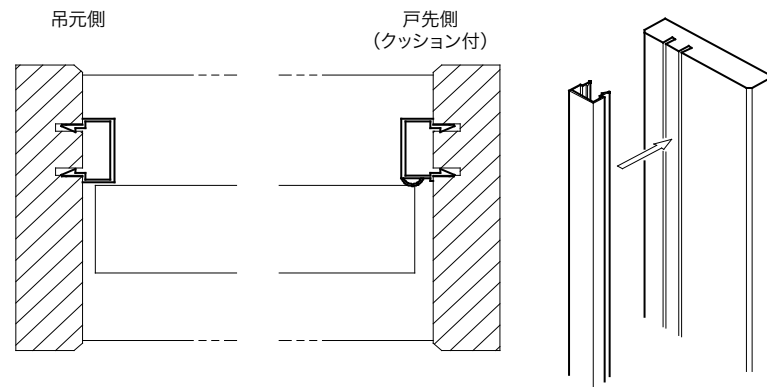
2. 部品の取付け

《戸当りの取付け》

①縦枠に戸当りを打ち込んでください。

- ◆クッション付戸当り(戸先側)…1本
- ◆クッション無戸当り(吊元側)…1本

注意 戸当りの種類に注意してください。



《上レールの取付け》

①上レールを上枠にビスで固定してください。

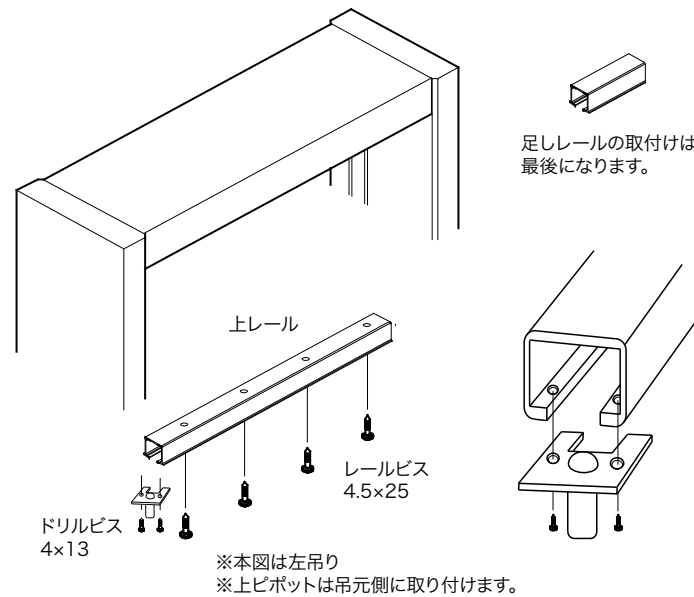
- ◆上レール…1本
- ◆上レール取付ビス…3 or 4本(4.5×25)

注意 足しレールは扉吊込み後に装着(固定)しますので、大切に保管しておいてください。

②上ピボットを上レールにビスで固定してください。

- ◆上ピボット…1個
- ◆上ピボット取付ビス…2本(皿ドリルビス4×13)

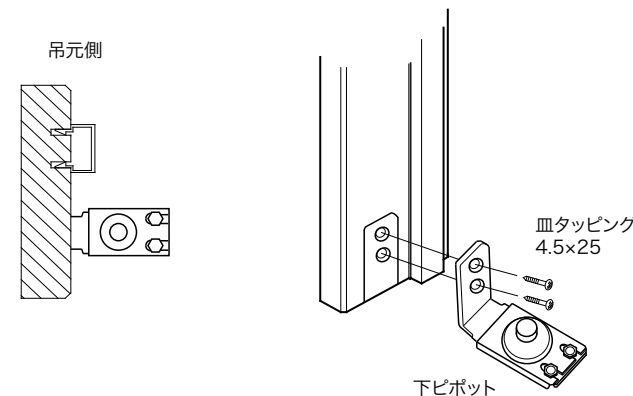
注意 部品の向きに注意してください。



《下ピボットの取付け》

①下ピボットを、付属のビスで取り付けてください。

- ◆下ピボット…1個
- ◆下ピボット取付ビス…2本(皿タッピング4.5×25)



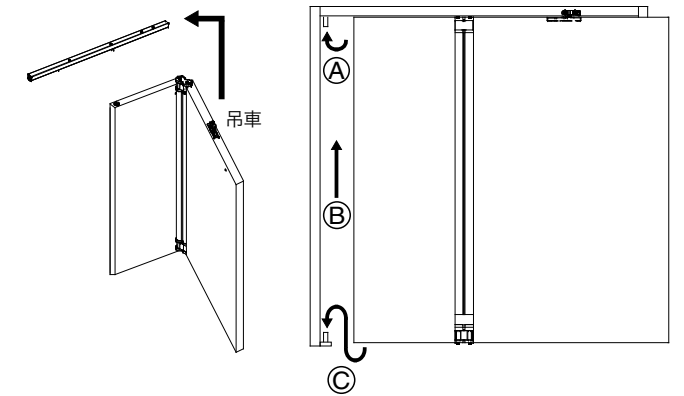
《レバーハンドルの取付け》

①レバーハンドルの取付けは、レバーハンドルに付属の説明書をご覧ください。

3. 扉の吊込み

《吊込み》

- ①吊車をレールに挿入してください。
- ②扉をスライドさせ、上ピボットへ装着してください(A)。
- ③扉を上へ持ち上げ、下ピボットへ装着してください(B)(C)。
- ④扉が装着しづらい場合は吊車⑥(次項参照)の調整を行ってください。



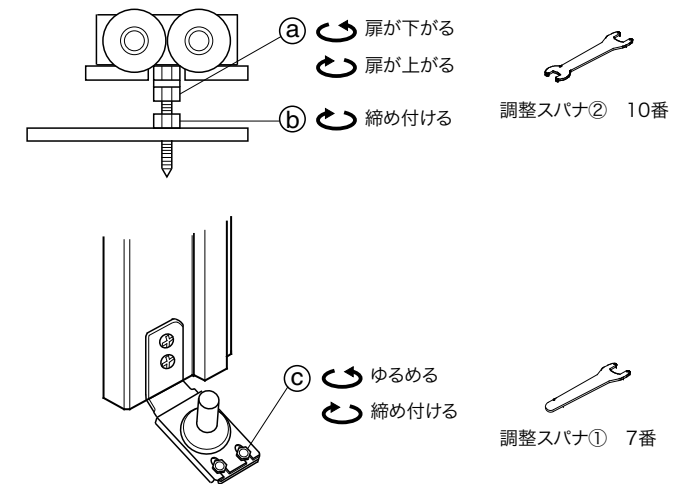
《建付け調整》

- ①高さ調整
 - ・③ナットを回すと高さ調整ができます。
 - ※扉を上げるためには⑥をゆるめる必要があります。
 - ・高さ調整後は必ず⑥を締め付けてください。

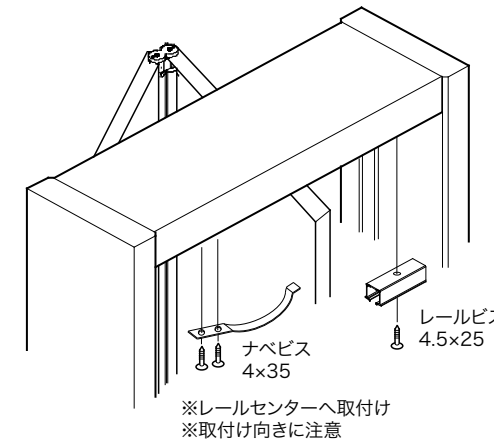
注意 ⑥の締め付けが甘いと、ナットがゆるみ、扉が傾いて開閉に支障をきたすことがあります。

- ②左右調整
 - ・③ナットを回し左右調整を行います。
 - ・左右調整後は必ず③を締め付けてください。

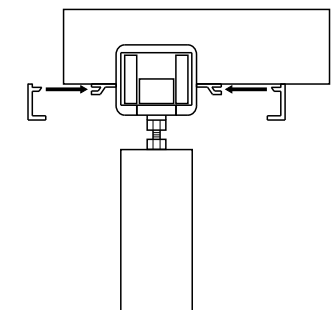
注意 ③の締め付けが甘いと、ナットがゆるみ、扉の固定がされず、開閉に支障をきたすことがあります。



《足しレールとストッパーの装着》



《ハンガーカバーの装着》



注意 ハンガーカバーが蛇行しないようにしてください。

施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆全ての部品が取り付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆取付けネジが所定の位置に取り付けられているか確認してください。
- ◆ネジのゆるみや枠のガタつきがないか確認してください。
- ◆扉の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

＜お手入れ方法＞

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れを落とし、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。